




学校教育目標
自分と相手を大切にし、
考えて行動する名瀬っ子

名瀬小だより

4月号

令和8年4月8日
横浜市立名瀬小学校
校長 宮崎 博隆



ていねいな一歩から、新しい一年を

校長 宮崎 博隆

校庭の木々が芽吹き、春のやわらかな空気を感じる季節となりました。名瀬小学校では、令和8年度の歩みがいよいよ始まります。

今年度から、始業式と入学式を別日にずらしてのスタートとなりました。7日の始業式を体育館で行った後、各教室に戻ってどの学級でも時間をしっかりと確保した学級開きを行うことができました。新しい仲間、新しい担任との出会いの中で、落ち着いて1年のスタートを切ることができたと感じています。続く8日の入学式では、47名の新しい1年生を迎え、全校児童322名での新学期が始まりました。

新しい環境に、期待と同時に少しの緊張を感じている子どもたちもいることでしょう。私はこの時期になると、学校にとって本当に大切にすべきことは何かをあらためて考えます。

今年度、名瀬小学校がまず大切にしたいのは、「ていねいな生活づくり」です。あいさつをすること。話す人の方を向いて聴くこと。靴をそろえること。時間を守ること。持ち物を整えること。どれも特別なことではありませんが、凡事徹底して、こうした「当たり前」をていねいに積み重ねることで、学校全体に落ち着いた空気が生まれます。その空気こそが、子どもたちが安心して学びに向かうための大切な土台だと考えています。

あわせて今年度は、「対話のある学び」を大切にしていきます。対話とは、たくさん話すことではなく、相手の考えに耳を傾け、自分の考えを大切にしながら、折り合いをつけて前へ進むとする姿そのものです。特別活動で育ててきた話合いの力やふり返る力を日々の授業や生活の中にも生かし、子どもたちが自ら考え、行動する場面を積み重ねていきたいと考えています。

名瀬小学校には、保護者や地域の皆様をはじめ、学校を支えてくださる多くの力があります。子どもたちは学校の中だけで育つのではなく、人と関わり、地域とつながる中で学びを広げていきます。今年度も、社会に開かれた教育活動を通して、名瀬で学ぶことの意味を子どもたちとともに考えていきます。

新しい1年は、誰にとっても「最初の一歩」から始まります。その一歩をていねいに、確かに踏み出していけるよう、教職員一同、力を合わせて子どもたちを支えてまいります。

本年度も、名瀬っ子全員のサポーターとして、本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。